

## 済生会滋賀県病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (倫理委員会受付番号)	胃癌サーベイランスにおける内視鏡検査間隔の妥当性に関する多施設共同後ろ向き研究 (No.440)
当院の研究責任者	重松 忠
他の研究機関および各施設の 研究責任者	京都府立医科大学消化器内科・助教 土肥 統
本研究の目的	この研究は京都府立医科大学消化器内科が主導となり企画された多施設共同後ろ向き観察研究である。 胃癌のハイリスク患者には定期的な内視鏡検査によるサーベイランスは必要である。本研究では、年 1-2 回の内視鏡検査が胃癌の早期発見に有用か、また内視鏡検査の間隔が妥当かどうかを検証することを目的とする。適切な内視鏡サーベイランス間隔を検証することで、胃癌の早期発見ならびに、患者の予後改善に貢献する。胃癌発見のための適切な検査間隔について、本研究により明らかにする。
調査データ該当期間	施設の倫理審査委員会承認後～2023年3月31日
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者様 2014年1月1日～2019年12月31日に上部消化管内視鏡検査にて胃癌と診断され、polypectomy、内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術あるいは外科手術などの治療を受けた患者様。 ●利用する情報 電子カルテに記入された項目 基本情報として年齢、性別、合併症、既往症、現病歴、腫瘍の形態、大きさ、潰瘍併発の有無、腫瘍部の術前病理組織診断、拡大内視鏡診断、病理診断結果。 主項目：胃癌発見時より一回前の内視鏡検査から胃癌発見までの内視鏡検査間隔 副項目：内視鏡所見を含めた治療内容 を利用します。
試料/情報の他の研究機関への 提供及び提供方法	多施設共同研究であり、上記の研究責任者に情報を提供します。

個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会で発表する際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：077-552-1221(病院代表) 所属・職名：消化器内科 担当者：重松 忠
備考	